

宮津市定例記者会見

令和5年1月27日（金）午後2時～
宮津市役所応接室

【内 容】

1. 宮津市教育フォーラム（第7回目）（再）

（1/28、今回初、学校で学んでいる子どもたちの声を聴いてみます）

2. 京都サンガF.C.による「サッカー教室」の開催（再）

（1/29、本市で初めてとなるホームタウン活動として京都サンガF.C.と小学生が交流）

3. 天橋立国際オンラインカンファレンスの開催

（2/3、天橋立の世界遺産登録を目指し、モン・サン・ミッシェル（フランス）と意見交換）

4. 越境稼働型実践プログラムによる都市部企業の研修人材の受入れ

（2/1～3、「越境キャラバン in 宮津」の開催）

5. 「“空き家”のよりよい活かし方」ワークショップの開催

（2/11、現役大学生と一緒に空き家活用を考える）

6. 日ヶ谷地域が移住者・就農者向けのチラシを作成

（地域をあげて移住・就農対策に着手、関係人口の増加を目指して）

7. 冬の宮津満腹祭の開催

（2/26、「宮津天橋立漁師町ととまーと」・「道の駅 海の京都宮津」の2会場で開催）

8. 今後の行事予定

次回予定 令和5年2月17日（金）午後2時～ 宮津市役所応接室

橋をつなごう 天橋立名勝100年・特別名勝70年 から 次の100年へ

令和5年1月11日（再）

宮津市教育フォーラム(第7回目)を開催

～ 今回初、学校で学んでいる子どもたちの声を聴いてみます!!～

「小中一貫教育」や「コミュニティ・スクール」をはじめとした宮津市の新しい教育について、市民、保護者のみなさんとともに考える場として宮津市教育フォーラムを開催します。

宮津市では、将来を担う子どもたちが、激しい社会の変化の中でも様々な課題に対応しつつ、社会人・職業人として、自分の力で幸せに生きていく力を身に付けさせるため、「豊かな学びを深めてふるさとを愛する人づくり」の教育理念のもと、小中一貫教育の全面実施、コミュニティ・スクールの本格導入、GIGA スクール構想の実現など、新しい教育の創造に向けた取組を進めています。そのような中、宮津市の教育について、何を思い、どう捉えているかなど実際に学校で学んでいる子どもたちの生の声を、市民や保護者のみなさんと一緒に聴くことで、これからの教育の在り方について考える機会とします。

日 時

・令和5年1月28日(土) 午後1時30分から午後4時まで

場 所

・みやづ歴史の館 文化ホール（2階）
宮津市字鶴賀 2164 TEL 0772-20-3390

内 容

- (1) オープニング 中学生の合唱動画
- (2) 開会挨拶
- (3) 実践報告 宮津市の教育について～小中一貫×コミュニティ・スクール×GIGA～
- (4) フリートーク テーマ：学校で学びたいこと、地域で学びたいこと
大学教授が聞き手となり、テーマに沿って中高生とフリートークを展開します。
フリートークの随所で、小学生のインタビュー動画を流します。

その他

・午後1時から受付開始

【担当者のコメント】

平成28年度から毎年開催している宮津市教育フォーラムも、今回で7回目となります。これまで講話やパネルディスカッションなど大人中心のフォーラムでしたが、子どもに視点を当てた、子どもを中心としたフォーラムを開催します。

「宮津市の教育ってど～え～？」ぜひ子どもたちの声を一緒に聴いてください！

お問い合わせ先

宮津市教育委員会事務局学校教育課

TEL：0772-45-1641

令和5年1月20日（再）

新規

京都サンガ F.C. による「サッカー教室」の開催

～本市で初めてとなるホームタウン活動として京都サンガ F.C. と小学生が交流～

令和4年4月26日に京都サンガ F.C. のホームタウンに加入後、本市で初めての交流事業として、小学生を対象とした「サッカー教室」を開催します。

日 時

・令和5年1月29日（日） 10時30分から12時まで

場 所

・宮津市民体育館アリーナ

内 容

・京都サンガ F.C. コーチ2名によるサッカー教室
基本的な体づくりやサッカーの技術向上に向けた基礎指導
※宮津サッカースポーツ少年団26名(小学1年生～6年生)を対象

その他

本市のジュニア育成の一環として、サッカーに取り組む子どもたちがトップレベルに触れる機会を創出し、夢や目標を持って頑張る大切さや競技力向上に取り組む機会とする。

【担当者のコメント】

本市では、京都サンガ F.C. のホームスタジアムとなる「サンガスタジアム by KYOCERA」での市民観戦ツアーの実施や宮津市ふるさと納税返礼品への「2023 シーズンユニフォーム」の提供などを行ってきました。

今回のサッカー教室を始めとして、市民と京都サンガ F.C. との交流事業を推進し、ホームタウン活動による地域の元気づくりを進め、京都サンガ F.C. を応援していきます。

令和 5 年 1 月 2 7 日

天橋立国際オンラインカンファレンスを開催します

～ 天橋立の世界遺産登録を目指し、モン・サン・ミシェル（フランス）と意見交換 ～

世界文化遺産「モン・サン・ミシェルとその湾」の関係者及び海外の有識者を招き、国際オンラインカンファレンスを開催し、天橋立の世界遺産登録に向けて、国際的な認知度の向上や、国際的な評価の獲得を目指す。また、地元でのオンライン上映を通じて、世界遺産登録の気運醸成に寄与する。

日 時

令和5年2月3日（金） 午後4時30分から7時30分

場 所

ルビノ京都堀川「ひえい」（京都市） ※オンライン併用

内 容

別紙1「実施概要」のとおり

その他

宮津市福祉・教育総合プラザ3階 第1コミュニテールームにて、国際オンラインカンファレンスの同時上映会を行います（別紙2「実施要項」のとおり）。

【担当者のコメント】

天橋立の名勝100年、特別名勝70年の新たなステージとして、世界文化遺産登録に向け、天橋立の価値を国際的に発信します。

令和 4 年度天橋立国際オンラインカンファレンス実施概要

◇目 的

天橋立の世界遺産登録に向けて、既に世界文化遺産に登録されている関係遺産の海外有識者等をオンライン招聘し、意見交換を行うことで、天橋立の国際的評価の獲得、提案内容の充実を図るとともに、天橋立に関する取組を広くアピールし、世界遺産登録に向けた気運醸成を図ることを目的とする。

◇主 催 京都府、宮津市、与謝野町、天橋立を世界遺産にする会

◇協 力 天橋立を守る会、京都宮津湾・伊根湾クラブ

◇後 援 伊根町

◇日時・会場

日時：令和 5 年 2 月 3 日（金）16 時 30 分～19 時 30 分

会場：ルビノ京都堀川「ひえい」（京都市）、オンライン併用

◇出席者

- 1 世界遺産「モン・サン・ミシェルとその湾」関係者
 - ルイ・ティボルト 氏（モン・サン・ミシェル湾クラブ代表、プレーヌ・フジェール市長）
- 2 国際的な専門家（フランス）
 - ジャン＝ロベール・ピット氏（パリ地理学会会長、景観と食文化の専門家）
- 3 天橋立世界遺産登録推進会議委員及び専門委員会委員、アドバイザー
- 4 オブザーバー 文化庁

◇内 容

- 1 開会
- 2 「天橋立」の価値について
 - ・一般的な紹介（PR動画、関係市町・団体の取組）
 - ・専門的な紹介（専門委員会委員）
- 3 世界遺産「モン・サン・ミシェル」から見た「天橋立」について（ルイ氏）
- 4 質疑応答
- 5 欧州・フランスから見た天橋立についてコメント（ピット氏）
- 6 意見交換
- 7 閉会

令和4年度天橋立国際オンラインカンファレンス同時上映会

実施要項

目 的：天橋立の世界遺産登録に向けて、既に世界文化遺産に登録されている関係遺産の海外有識者等をオンライン招聘し、意見交換を行うことで、天橋立の国際的評価の獲得、提案内容の充実を図るとともに、天橋立に関する取組を広くアピールし、世界遺産登録に向けた気運醸成を図ることを目的とする。また、地元でのオンライン上映を通じて、モン・サン・ミシエルの取り組みなどを紹介する中で、地元における世界遺産登録の気運醸成に寄与するとする。

主 催：天橋立を世界遺産にする会

日 時：令和5年2月3日 午後4時30分から7時30分（午後4時開場）

会 場：宮津市福祉・教育総合プラザ（ミッブル3階）第1コミュニティールーム

参加費：無料

定 員：100名（申込み不要／先着順）

内 容：京都市内で開催する「天橋立国際オンラインカンファレンス」の様態を同時オンライン配信します。

その他：国際オンラインカンファレンスの内容等については、別紙1「実施概要」をご参照ください

令和4年度天橋立国際オンラインカンファレンス出席者名簿

■天橋立世界遺産登録推進会議委員

氏名	所属等	専門等
金田 章裕 (会長)	京都大学名誉教授 京都府立京都学・歴彩館館長	人文地理学
岡田 保良 (副会長)	国士舘大学名誉教授	建築学
今井 一雄	天橋立を世界遺産にする会会長	
羽瀨 徹	天橋立を守る会会長	
城崎 雅文	宮津市長	
山添 藤真	与謝野町長	
上原 弘明	京都府丹後広域振興局 副局長	

■天橋立世界遺産登録推進会議 専門委員会委員

氏名	所属等	専門等
上杉 和央	京都府立大学文学部准教授	地理学
岡田 保良 (副委員長)	国士舘大学名誉教授	建築学
金田 章裕 (委員長)	京都大学名誉教授 京都府立京都学・歴彩館館長	人文地理学
高橋 克壽	花園大学文学部教授	考古学
仲 隆裕	京都芸術大学芸術学部 歴史遺産学科教授	造園学
深町 加津枝	京都大学大学院地球環境学堂 景観生態保全論分野准教授	景観生態学
福島 恒徳	花園大学文学部教授	日本美術史
宗田 好史	関西国際大学国際コミュニケーション学部 観光学科教授	都市・地域計画
山田 邦和	同志社女子大学現代社会学部教授	古代・中世考古学

令和5年1月27日

越境稼働型実践プログラムによる都市部企業の研修人材の受入れ

～ 2/1-3 『越境キャラバンin宮津』の開催 ～

MIYAZU未来デザインセンター（代表：宮津商工会議所 今井一雄会頭、構成：宮津商工会議所・京都北都信用金庫・宮津市）では、都市部企業が取り組む「越境稼働型実践プログラム」について、都市部企業の社員研修を受け入れ、地域企業に入っただき、個社の現状把握や課題整理などを行っていただく『越境キャラバンin宮津』を受け入れます。

本事業は、都市部企業のシニア層を対象とした「キャリア自律」に向けたプログラムに組み込まれた外部研修として実施されるもので、今回は、市内観光事業者等に受け入れていただき、個社の現状把握や課題整理の支援のみならず、市全体の観光に係る課題なども研修テーマとしていただく予定です。

今後1か月間はオンライン等で地域事業者とともに研修を進められ、本年3月1日（水）～3日（金）に再度本市へお越しいただき、研修成果を報告いただくこととしています。

開催日時

・令和5年2月1日（水）午後2時～2月3日（金）正午（予定）

開催場所

・前尾記念クロスワークセンターMIYAZU（鶴賀2164-2）ほか
※2月2日（木）は、市内5事業所ほかで事業者へのヒアリング等を行います。

参加者

・都市部企業の社員 10社21名

内容

- 市内事業者への経営課題のヒアリング
・市内5事業者ほか〔2日（木）11:00～15:00 予定〕
- 全体取組
・支援事業者ごとのチーム間の情報共有、支援の進め方など
〔1日（水）14:00～17:00・3日（金）9:00～正午、クロスワークセンター〕

その他

・時間は予定であり、前後する場合があります。

【担当者コメント】

・前尾記念クロスワークセンターMIYAZUを拠点に、都市部人材を受け入れ、地域企業等の経営革新や課題解決につなげるとともに、関係人口を創出していきたく考えています。

お問い合わせ先

企画財政部 / 企画課 / 定住・地域振興係

TEL : 0772-45-1607

令和5年1月27日

『“空き家”のよりよい活かし方』ワークショップを開催します

～ 現役大学生と一緒に空き家活用を考えませんか？ ～

京都府移住促進特別区域に指定(H29)された上宮津地区において、上宮津地域会議が移住促進のために空き家を活用したお試し住宅を運営される予定であり、現在、改修を進められています。

こうした中、昨秋、宮津市役所のインターン生としてこの改修計画に携わっていただいた大学生をお迎えし、空き家の利活用について考えるワークショップを開催します。

日時・場所

令和5年2月11日(土) 13:00～15:00
今福公民館(宮津市今福451-3)

タイムスケジュール

13:00 上宮津のお試し住宅についてのお話(京都工芸繊維大学 宮田梨穂子さん)
参加者との意見交流
14:00 現在改修中の空き家の現場見学(今福公民館の南側)
14:30 宮津市職員による空き家相談会
※14:00以降のスケジュールについては自由参加・流れ解散とします。

事前参加申し込み・お問合せ

宮津市役所 企画課 定住・地域振興係 0772-45-1607
合同会社カミヤヅラボ 0772-45-1225
※当日飛込参加も可能です。

【担当者のコメント】

宮田さんは、京都工芸繊維大学が実施する地域創生 Tech Program「ものづくりインターンシップ I」で令和4年11月7日～18日の間、宮津市でのインターンシップにおいて、京都府移住促進特別区域に指定された上宮津地区におけるお試し住宅整備計画に関わっていただき、地域と協働し住宅の空間デザイン案・お試し住宅のコンセプトづくりに取り組んでいただきました。

今後の宮津市にある空き家の活用に向けた先進好事例となることを期待しています。

※地域創生 Tech Program：平成28年度に開設。京都府北部地域に生まれ育った高等学校卒業生等を優先的に受け入れる入試制度を設け、学部教育課程における教養教育や専門教育のプログラムに加えて、強い地域貢献意欲を有した人材を育成することを目的とした特別な教育プログラム

※京都府移住促進特別区域は、府の条例に基づき人口減少等に対する特別な対策を行う必要性のある地区を指定するもの。宮津市では現在6地区(宮津、上宮津、吉津、府中、世屋、養老)が指定されている。

お問い合わせ先

企画財政部 / 企画課 / 定住・地域振興係

TEL : 0772-45-1607

“空き家”のよりよい活かし方 現役大学生と一緒に考えませんか？

上宮津のとある空き家を『お試し住宅』へ改修し、移住促進を図る計画が現在進行中 ...
昨秋、宮津市役所のインターン生としてお世話になった宮田さんをお迎えして、宮津の
空き家の利活用について考えるワークショップを開催します！改修中の空き家の現場見
学や市役所職員による空き家についての相談会なども行います。ぜひご参加ください！

2023年2月11日(土) 13:00 ~ 15:00

今福公民館(宮津市今福451-3)

タイムスケジュール

- 13:00 上宮津のお試し住宅についてのお話(宮田さんより)
参加者との意見交流
- 14:00 現在改修中の空き家の現場見学
- 14:30 宮津市役所職員による空き家についての相談会

※14:00以降のスケジュールについては自由参加とします



宮田 梨穂子

京都工芸繊維大学 工芸科学部 デザイン・建築学課程3年生。兵庫県豊岡市出身。
同校の地域創生 Tech Program にて京都北部の地域創生についても学ぶ。昨秋、
宮津市役所のインターンシップに参加し、『お試し住宅』の空間デザインを考案。

事前参加申込・お問い合わせ

宮津市役所 企画課 定住・地域振興係 0772-45-1607
合同会社カミヤヅラボ 0772-45-1225

令和5年1月27日

新規

日ヶ谷地域が移住者・就農者向けのチラシを作成

～地域をあげて移住・就農対策に着手、関係人口の増加を目指して～

このほど、日ヶ谷地域の農業者が中心となって、合計13回の会議やグループディスカッションを経て、移住者・就農者向けのチラシを作成されました。

経過

- ・ 日ヶ谷地域は、少子高齢化により 30 年前に 386 人いた人口が 145 人となり、高齢化率も 61%になるなど農地の保全や自治会機能の存続が困難な状況になる中、市の農山漁村コミュニティ活性化事業（補助金）を活用され、移住希望者へ地域の情報を提供するチラシを作成されました。
 - ・ また、併せて地域への移住を支援する「日ヶ谷ぐらし応援隊」を結成されました。
- ※日ヶ谷では、昨秋、市が初めて募集した半農半Xインターンシップ事業に参画、移住者対応に経験を積まれるなど新たな担い手の確保にも注力され、今後は、移住者の積極的な受入れに取り組まれる予定です。
- ※応援隊は、自治会、地域会議、公民館、農業団体等、地域が一つになって受入れ体制を構築されています。

チラシについて

- 日ヶ谷の自然や暮らし、農業についての情報、加工施設の運営者募集（令和5年活動休止予定）
- 京都市等の移住・定住相談コーナーに配架するほか移住・就農フェア等で配付
- A3判、見開き1枚 1,000部作成、市補助金（上記事業のうち新たな担い手受入体制構築支援事業を活用）

今後の取組

- 毎月15日の会議(15日会)を継続し、移住者・就農者の募集・受入に係る取組を推進
- 持続可能な農業が展開できるよう関係機関と連携した取組を実施

【担当者のコメント】

人口減少が止まらない地域で、高齢者中心に毎月、会議を継続されてきた皆さんの熱い思いに頭が下がる思いです。諦めたら終わり、今やらないといけなことを自分事として行動されています。周辺の農業委員も視察に来られるなど、市の事業を活用いただき同様のチラシが他の集落でも多くでき、農業分野の関係人口が増加することを期待しています。

日ヶ谷ってこんなところ。



04

病院

市立養老診療所へは車で5分
京都府立医科大学附属北部医療センターへは
車で20分

05

遊び・行事

交通量が少ないので子どもたちが安心して遊べる
環境があり、川遊びもできます。海へも車で5分。
ホテル観賞会、観運会、運動会や文化祭などの地区
行事があります。

06

四季・景色

6月にはホテルを見ることができます。
空気の綺麗な日ヶ谷だからこそ年中夜は満点の星
空が楽しめます。
田植えの頃から夏までは清流の歌姫と呼ばれる元
気なカジカガエルの声が聞こえます。

07

移住支援

宮津市空き家バンク制度をご利用いただけます。
物件紹介のほか、購入又は改築に支援があります。
詳しくはみやづUIターンサポートセンターまで

01

移住環境

日ヶ谷の夏の夜は涼しいので冷房なしでも過ごせることも。
冬は積雪もあり、冬用タイヤが必須です。
民家と民家が離れているので、賑やかしても大丈夫です。
交通は予約制の地元有償運送制度があります。
光回線やドコモ、ソフトバンクなどの通信環境も充実

02

買い物

スーパー（にしがき養老店）まで車で5分
生協の配達や移動スーパーとくし丸の利用も可能

03

学校

養老小学校、橋立中学校へは安全安心なスクールバスで通学

Access 日ヶ谷へのアクセス

- 電車・バス JR京都駅から特急で宮津駅まで約2時間
宮津駅から丹後海陸交通路線バスで最寄りの岩ヶ鼻まで約60分
（伊根線・蒲入線・経ヶ岬線内行き）
岩ヶ鼻バス停から徒歩約30分
- 車 京都市内から京都縦貫自動車道で約2時間
大阪市内から中国自動車道～京都縦貫自動車道で約2時間20分

お問い合わせ

【日ヶ谷15日会】
毎月15日に「気楽に!楽しく!中身濃く!」をモットーに農
村集落の計画づくりや日ヶ谷の将来について話し合っ
ています。

【日ヶ谷ぐらし応援隊】
日ヶ谷地区自治連合会 石田会長
親切にお答えしますのでお気軽にお問い合わせください。
tel : 080-5309-4762

【農業】
宮津市役所 農林水産課
tel : 0772-45-1626
E-mail : nousui@city.miyazu.kyoto.jp

【移住・定住】
みやづUIターンサポートセンター
（宮津市役所 企画課 定住・地域振興係内）
tel : 0772-45-1033
E-mail : ui-support@city.miyazu.kyoto.jp



静かな田舎で新しい暮らし

HIGATANI

in Kyoto, Miyazu



はじめまして、
日ヶ谷。





こんにゃく畑



HIGATANI

日ヶ谷とは

人口145人
京都府北部にある、
「宮津市日ヶ谷」

知る人ぞ知る小さな里山
昔ながらの山村の風情が残り、
静かな山間の四季を感じられる地域です。



小さな自然を体感

日本三景 天橋立から北に車で20分のところに位置する宮津市日ヶ谷地区。
市内 最北端に位置し、昭和の合併で日ヶ谷村から宮津市に合併。
明治時代には与謝郡でも人口4位と賑わいがありました。
現在は、5つの集落に145人、65世帯が居住。高齢化率は61%ですが、元気な高齢者が多く、春の若葉が美しい山々、緑のじゅうたんの様相をした夏の水田や蓮畑、秋の紅葉、黄金の稲穂、幻想的な雪山の風情など四季を感じる里山に囲まれた自然の中で、半農半年金・生涯現役で農業に親しみながら、豊かな暮らしがあります。山間から流れる清流が豊かな農作物を育み、棚田での水稲栽培、皇室にも献上された「日ヶ谷ごぼう」のほか山菜、根菜類などおいしいものがとれる食の宝庫です。

自然に近い暮らしをはじめよう

「農業後継者」募集中

農業に興味のある方を募集しています！

近年、高齢化に伴う離農で営農継続が大変厳しい状況です。

本格的に農業をしたい方、家庭菜園を楽しみたい方、

日ヶ谷で自給自足の生活をはじめませんか。



□農地

宮津市では唯一、畑地でほ場整備された農地があります。
8.2ha(田6.2ha、畑2ha) 平均的なほ場面積 7a
典型的な中山間地で、大型機械による作業は不向き。
鹿やイノシシなどの野生動物の出没があり、対策が必要です。

□栽培作物・出荷先

水稲、ごぼう、小豆、こんにゃく、里芋、薩摩芋、トマト、きゅうり、
なす、しそ、生姜、山菜(自生)など少量多品目栽培。お米は個人
販売中心、しそは漬物屋に出荷、こんにゃくは味工房という地元
の加工グループが加工し、道の駅で販売しています。
(令和5年中に活動休止予定)



— 活動 —

現在、農家のうち現役世代の専業農家は少なく、兼業農家が退職世代
による営農が中心。集落ごとに集落内の農家で構成された組織があり
主に情報共有や草刈りなどの活動を行います。日ヶ谷は中山間地域で日
本型直接支払制度(国補助金)を活用した農地の保全活動を実施してい
ます。集落営農組織の日ヶ谷営農組合では、水稲栽培を中心に機械に
よる耕起、田植え、刈取り、乾燥・調整などの作業を請け負います。営農
指導は、地元のベテラン農家による指導・相談が可能です。
親切に対応します。



加工施設

日ヶ谷のこだわる商品づくりを

これまでも、これからも。

＼ 広めよう 日ヶ谷産品 /

日ヶ谷の食材を使って
商品づくりをしませんか？

加工施設の利用者募集中！

agriculture

令和5年1月27日

冬の宮津満腹祭を開催します。

冬の宮津満腹祭を開催いたします。

「宮津天橋立 漁師町 ととまーと」と「道の駅 海の京都宮津」の2つの会場で、冬の宮津まんぷく祭を開催いたします。

地元・文珠カキを使用したメニューや、海の京都の食を満喫できます。
ぜひお越しください。

日 時

令和5年2月26日（日）10時～15時

場 所

- ・宮津天橋立 漁師町 ととまーと
- ・道の駅 海の京都宮津

内 容

- ・宮津天橋立 漁師町 ととまーと会場
ととまーと内の各店舗の新鮮な海の幸を使った料理に加え、地元・文珠カキを使用したメニューを提供します。
- ・道の駅 海の京都宮津会場
芝生スペースの「真冬の屋台村」では、真冬の寒さの中、宮津産食材や熱々の料理を楽しんでいただけます。

その他

- ・宮津天橋立漁師町ととまーと会場は、臨時駐車場（西宮津公園グラウンド）を開設（無料）
- ・各コーナー、食材や商品がなくなり次第、販売終了しますのでご了承ください。

令和5年1月27日

今後の行事予定について

イベント情報

令和5年京都サンガF.C.による「サッカー教室」

と き 1月29日(日) 10:30~12:00
ところ 宮津市民体育館アリーナ
内 容 本市で初めての交流事業！京都サンガF.C. コーチ2名によるサッカー教室
問合せ 企画政策係(Tel45-1664)

「越境キャラバン in 宮津」

と き 2月1日(水) 14:00~3日(金) 12:00
ところ 前尾記念クロスワークセンターMIYAZU ほか
内 容 都市部企業の社員研修の受入れ
問合せ 定住・地域振興係(Tel45-1607)

大和学園生による学生レストラン特別ディナー

と き 2月2日(木)、3日(金) 18:30~20:30
ところ Hotel&Resorts KYOTO-MIYAZU 8階「セレストポート」
内 容 「宮津の”おいしい”ジビエやイチゴを味わう特別メニュー」(コース料理)
問合せ 商工係(Tel45-1663)

天橋立国際オンラインカンファレンス

と き 2月3日(金) 16:30~19:30
ところ ルビノ京都堀川「ひえい」(京都市)
※オンライン併用:会場「福祉・教育総合プラザ3階 第1コミュニティールーム」
内 容 (1) 世界遺産を目指す「天橋立」の価値について
(2) 世界遺産「モン・サン・ミシエル」から見た「天橋立」について
(3) 欧州・フランスから見た天橋立について
問合せ 社会教育係(Tel45-1642)

「“空き家”のよりよい活かし方」ワークショップ

と き 2月11日(土) 13:00～15:00
ところ 今福公民館
内 容 現役大学生と一緒に空き家活用を考える
問合せ 定住・地域振興係(Tel45-1607)

2023「冬の宮津満腹祭」

と き 2月26日(日) 10:00～15:00
ところ 宮津天橋立漁師町ととまーと・道の駅 海の京都宮津
内 容 文珠カキを使用したメニューや海の京都の食を提供
問合せ 観光係(Tel45-1625)

その他情報

宮津市教育フォーラム(第7回目)

と き 1月28日(土) 13:30～16:00
ところ みやづ歴史の館 文化ホール
内 容 中学生の合唱動画
実践報告「宮津市の教育について～小中一貫×コミュニティ・スクール×GIGA～」
フリートーク「学校で学びたいこと、地域で学びたいこと」
問合せ 学校教育係(Tel45-1641)